

日本医学健康管理評価協議会総会

日医総研の取組みについて
【情報提供】

平成29年12月7日

日医総研
吉田・窪寺

平成27年度健診標準フォーマットによるデータ収集

①施設内の健診システムでCSVファイルを作成

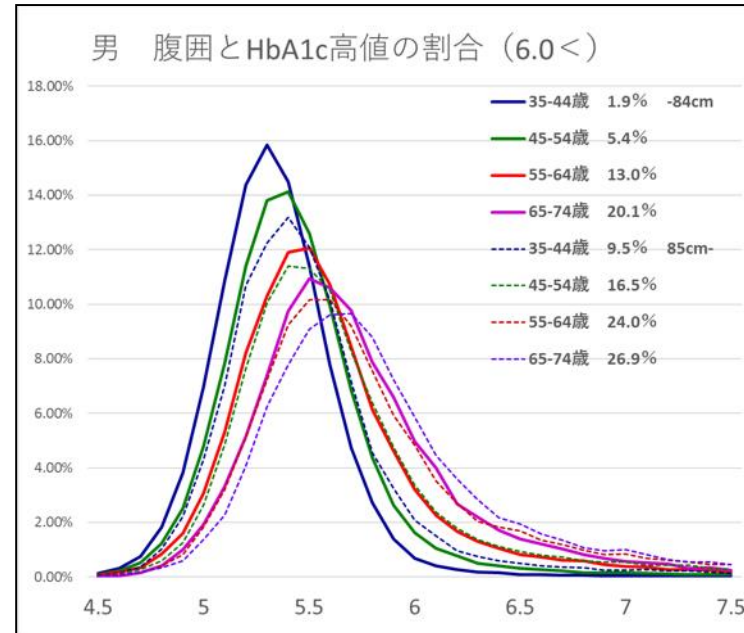


②「変換ツール」でCSVファイルを健診標準フォーマットに変換。変換後のデータファイルは外付H Dに蓄積。

2016/5/1現在

健診データ変換件数（H25年度1年分を抽出）

データ提供協力施設		データ件数
医師会立	西宮市医師会	11,000
	品川区医師会	1,044
	半田市医師会健康管理センター	40,895
	焼津市医師会臨床検査センター	20,212
	石川県医師会臨床検査センター	7,183
	臼杵市医師会情報管理センター	18,554
	佐賀県医師会成人病予防センター	81,626
	福岡市医師会成人病センター	4,962
	宗像医師会病院	13,197
医師会立 以外	霞が関ビル診療所	761
	東都クリニック	966
	同友会 春日クリニック	104,718
	生光会 健康管理センター	3,055
	日本健康倶楽部（15支部）	711,579
	相澤病院健康センター	27,784
	神奈川県予防医学協会	392,612
参考データ	東京都情報サービス産業健保	43,049
合計件数		1,483,197



※抽出されたデータ分析により、各年代によるHbA1c検査の分布の違いが、より明確に把握される。

◆健診標準フォーマットは、特定健診、一般定期健診、人間ドック、がん検診、及び一部の特殊健診をカバーしているため、幅広い年代の健診状況の把握が可能となる。

がん検診（対策型・任意型）の実施状況（抽出データより）

分類	施設名	施設24	施設30	施設44	施設54	施設55	施設67	施設80	施設K	施設A	計
受診者数	合計	9,479	64,405	104,718	15,008	3,055	13,197	40,892	324,074	27,784	602,612
	男	4,993	26,622	58,555	6,409	1,463	5,220	4,894	213,915	14,783	336,854
	女	4,486	37,783	46,163	8,599	1,592	7,977	35,998	110,159	13,001	265,758
便	件数	6,563	12,085	25,340	5,335	1,278	6,699	32,830	71,980	18,837	180,947
	便潜血（便回とも）	6,127	11,115	23,770	4,998	1,238	6,194	31,085	67,995	17,537	170,059
	便潜血（）	436	970	1,570	337	40	505	1,745	3,985	1,300	10,888
腫瘍マーカー	AFP定量	2,330	436	581	2	37	205	4,453	164	9	8,217
	CFA	2,020	475	1,644	20	48	301	6,271	726	5,689	17,194
	CA19-9	1,857	418	1,510	14	50	239	5,669	280	2,451	12,488
	ペプシノーゲン1/2比	8	0	797	76	65	311	11,889	1,888	869	15,903
	ピロリ検査件数		1,542	534	108	37	315	7,110	2,083	1,133	12,862
	ピロリ（）			482	70	22	208	5,699	1,606		8,087
喀痰	細胞診 CLASS.1	8	257	345		3	2			136	751
	CLASS.2	103	75	177		0	3			103	461
	CLASS.2b,3,3a	0	0	5		0	0			0	5
	件数	8,075	13,513	78,459	8,922	2,918	4,294	9,794	235,910	24,209	386,094
胸部検査 X線、CT等	A.異常なし	5,766	11,933	69,059	3,903	2,593	4,148	8,939	207,437	19,983	333,761
	B.ほぼ正常	1,943	732	8,460	357	175	50	0	773	2,641	15,131
	C.経過観察	234	627	84	2,125	133	28	621	25,714	1,249	30,815
	D.治療中、要治療	0	37	22	52	13	12	70	521	276	1,003
	E.精検、再検	132	183	834	129	4	54	164	1,465	60	3,025
	件数	6,148	4,066	48,532	3,195	1,340	2,248	22,599	63,402	3,048	88,128
上部消化管 X線、内視鏡等	A.異常なし	3,267	1,811	27,281	2,807	838	1,584	16,992	49,445	1,689	54,580
	B.ほぼ正常	1,648	1,842	17,819	64	81	6	0	斜線対象外	102	21,562
	C.経過観察	1,024	236	242	184	403	479	4,727		974	8,269
	D.治療中、要治療	3	80	9	11	1	29	0		282	415
	E.精検、再検	206	95	3,180	129	17	150	880		1	4,658
	件数	2,354	3,980	21,836	1,432	318	806	24,976	15,066	18,607	67,539
腹部 超音波	A.異常なし	549	402	10,230	479	101	214	15,696	3,480	1,948	22,869
	B.ほぼ正常	1,114	1,042		46	32	121	0	3,648	2,923	8,926
	C.経過観察	638	2,267		898	173	433	8,909	7,458	13,211	33,987
	D.治療中、要治療	4	22		1	2	2	0	251	393	675
	E.精検、再検	49	247		8	10	36	371	229	132	1,082
	件数	1,298	4,201	22,636	2,116	967	609	28,414	21,274	12,121	81,515
乳房 X線、内視鏡等	A.異常なし	1,106	3,520	17,957	2,040	597	546	24,589	17,113		67,468
	B.ほぼ正常	75	376	2,934	21	159	11	0	0		3,576
	C.経過観察	18		452	49	147	2	2,107	2,754		5,529
	D.治療中、要治療	4	33	50	0	36	0	0	420		543
	E.精検、再検	95	272	1,243	5	28	50	1,718	987		4,398
	件数	1,275	1,528	22,297	1,758	857	606	26,526	10,118	6,640	54,847
子宮 視触診等	A.異常なし	1,272	1,374	17,497	1,556	790	532	23,563			46,584
	B.ほぼ正常	0	63	2,603	28	0	0	0			2,694
	C.経過観察	0	23	1,436	101	45	50	0			1,655
	D.治療中、要治療	0	33	336	25	11	6	0			411
	E.精検、再検	3	35	425	48	11	18	2,963			3,503
	件数	3	52	2	31	32					120
子宮細胞診	陰性		488				8	5,072	160	1,479	7,207
	陽性		38				0	213	40	76	367

注1)抽出条件:各施設が取扱う健診(健診、検診、精密検査等を含む)から集計、対象受診月日は2015年01-12月

注2)初期的な集計のため、完全な集計には至っていない

注3)斜線(/)部分は判定区分が不明確なデータ

糖尿病関連検査の実施状況（抽出データより）

健診施設における糖尿病関連検査の実施状況（試験的集計結果）

抽出条件：各施設の全採取件数（健診、検診、精密検査等を含む）から集計、対象受診月日は2015年01-12月

初期的な集計のため、完全な集計には至っていない。あくまで途中経過。

分類	施設名	施設14	施設24	施設30	施設44	施設54	施設55	施設67	施設80	施設A	施設K	計
受診者数	合計	6,919	9,080	64,405	104,717	15,008	3,055	13,197	40,892	27,784	280,170	565,227
	男	3,525	4,828	26,622	58,554	6,409	1,463	5,220	4,894	14,783	175,108	236,495
	女	3,394	4,252	37,783	46,163	8,599	1,592	7,977	35,998	13,001	105,062	180,068
尿	尿糖	6,037	8,180	50,235	81,028	10,264	2,936	5,729	40,774	25,469	214,950	445,602
	尿蛋白	6,037	8,180	50,247	12,923	10,264	262	5,732	40,776	25,469	219,114	379,004
	尿潜血	5,213	5,746	48,094		10,264		5,536	40,771	23,942	108,567	248,133
血算	H b	4,724	8,005	31,250	78,247	6,737	2,807	9,864	40,610	24,564	181,728	388,536
血清	総蛋白	409	2,589	12,830	42,842	1,141	396	960	36,613	20,564	15,734	134,078
	アルブミン	114	2,589	12,588	31,470	1,130	157	837	35,043	19,963	11,018	114,909
	A S T	5,076	8,181	50,708	79,189	9,817	2,807	9,825	40,796	24,667	181,793	412,859
	A L T	5,076	8,181	50,594	79,204	9,817	2,808	9,825	40,796	24,667	181,791	412,759
	γ G T P	5,076	8,181	50,713	79,190	9,807	2,808	9,825	40,796	24,667	179,631	410,694
	総コレステロール	614	5,651	18,641	56,260	3,041	1,109	3,644	40,627	24,130	86,883	240,600
	H D L	4,709	8,181	50,662	78,360	9,799	2,805	9,797	40,796	24,646	178,811	408,566
	中性脂肪	4,709	8,181	50,697	78,221	9,796	2,805	9,867	40,796	24,592	177,780	407,444
	クレアチニン	2,845	6,967	45,994	65,933	7,302	1,887	8,378	40,625	22,514	98,198	300,643
	eGFR	2,845	2,455	45,994	27,000	7,302		4,484	4,012	22,514	86,541	203,147
	BUN		2,319	12,440	45,250	1,049	335	862	40,625	20,895	30,073	153,848
	尿酸	2,477	6,968	46,224	71,337	6,795	1,972	8,135	40,793	22,867	129,709	337,277
	空腹時血糖	1,899	8,081	40,554		7,241	2,775	9,848	36,596	24,506	116,993	248,493
	HbA1c	4,681	3,546	39,070	65,991	6,659	1,614	8,418	40,793	23,236	128,300	322,308
カリウム			4,330	2,119	3	4	4		19,321	585	26,367	

総合判定用語の標準用語への集約

－シソーラス・類義語表記－

類義語(各施設で利用する用語)			意味	健診標準フォーマット 標準用語
正常	正常範囲	異常所見なし	この検査の範囲では異常ありません。	正常範囲内
異常なし	検査の範囲では異常なし			
差支えなし	わずかな異常(放置可)	わずかな異常	僅かに異常を認めるも日常生活に差支えありません。	ほぼ正常
措置不要	支障なし	差支えなし		
軽度基準外	軽度異常	観察不要		
有所見心配なし	有所見健康	放置可		
要観察	経過観察中	要観察12か月後	軽度な異常があります。日常生活に注意を要し、経過観察を必要とします。	要経過観察
要注意	要観察(次回)	経過観察6か月後		
要管理継続	日常生活注意(経過観察)	管理継続		
要管理	生活習慣の改善、経過観察	経過観察3か月後		
観察	要注意			
要観察・指導	異常なし(管理中)			
家庭にて経過観察	産業医相談			
要受診	病院紹介	要専門医	治療を必要とします。	要医療
要手術	要治療			
異常なし(治療中)	医療継続	治療中	治療を継続してください。	治療継続
要治療継続	加療中	治療中(継続)		
要医療継続	現在治療中	治療中(要医師相談)		
通院継続	病院受診	治療継続		
要治療継続	要治療継続(コントロール不良)	主治医受診		
要継続医療・治療中	要治療継続(コントロール良好)			
要二次検査	要精密	至急精検	精密検査を必要とします。	要精密検査
判定不能	近日中再検査		判定不能のため再検査します。	要再検査

健診標準フォーマットの活用と普及の状況

1. 生涯保健事業の構築における健診標準フォーマットの活用

①地域・職域保健における住民の健康状態の把握

地域内における自治体健診や職域健診の健診データを年齢に関係無く収集し、一元管理することができる。

例えば、がん検診では、対策型検診のみならず、任意型検診の標準化された検査データ収集が容易となることで、地域におけるがん検診のあり方について、より詳細な検討が可能になる。

②全国的な大規模健診データの収集

健診関係団体との協力により、全国的な大規模健診データ収集を行うことで、地域横断的に、成年期、壮年期、高齢期を網羅する、国民の健康状態を把握することができる。

③かかりつけ医による診断補助への活用

医療等IDによる個人の名寄せや個人情報への厳格管理のもと、大規模収集された健診データは、全国のかかりつけ医や健診現場の医師に対する診断補助や保健指導に活用される。

2. 健診標準フォーマットの普及の現状

①平成27年度実績

○変換施設数：17施設 ○変換件数：1,483,197件

②平成28年度実績（平成29年5月26日現在）

○変換施設数：27施設 ○変換件数：3,483,197件

③平成29年度の変換予定施設数・件数

○変換施設数：70施設 ○変換件数：5,000,000～7,000,000件

健診標準フォーマットの普及に関する更なる取組み

1. 協議会の構成団体による加盟健診実施機関からの健診データ収集・集計分析支援（有償による実証事業）

事業の名称：健診関係団体による健診データ収集・変換のための健診標準フォーマットパイロット事業

（1）事業の概要

平成28年10月12日に本協議会構成団体により公表された「共同宣言」では、宣言2において、「医療機関、健診実施機関、健診関係団体等が取り組む国民の生涯を通じた健康増進や健康管理に関わる事業活動に資する、健診のデータベース構築に協力して取り組むこと」とされている。そこで、日本医師会では、「健診標準フォーマットver.1.0」を用いて健診関係団体自身が健診実施機関より収集している健診データを健診標準フォーマットで一元管理し、集計分析できるよう、平成29年度中に本パイロット事業を実施する。

（2）本パイロット事業で取扱う健診データの範囲

本協議会構成団体による共同宣言に示されている「健診」の範囲とする。

- ①妊婦健診 ②乳幼児健診 ③学校児童生徒健診 ④労働安全衛生法に基づく定期健康診断等 ⑤特定健診
- ⑥後期高齢者健診 ⑦がん検診 ⑧人間ドック健診等

（3）本パイロット事業で取扱う健診データ変換等作業分担

- ①健診実施機関における健診データの健診標準フォーマットへの変換作業：

日医総研で実施機関用に個別設定した「変換ツール」により、健診実施機関内において変換作業を実施する。

- ②健診実施機関内において標準フォーマットに変換された健診データの収集方法：

健診関係団体の責任の下、管理されているデータセンター等に収集する。

- ③標準化後の健診データの集計分析作業（健診関係団体からの要望に基づく作業）

個人情報情報の匿名化、若しくは属性の削除は健診実施機関で実施し、健診関係団体に送る。

健診関係団体に送られた健診データの集計分析は日医総研が行い、健診関係団体に提供する。

（詳細は別途説明）

健診標準フォーマットの普及に関する更なる取組み

2. 被用者保険の保険者等による契約健診実施機関からの健診データ収集への支援（有償による実証事業）

事業の名称：先進的な予防・健康づくりのための健診データベース構築事業

（1）事業の概要

わが国においては、「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）に基づき、すべての健康保険組合がその保有するデータ（主に健診データとレセプトデータ）を活用して、保険加入者の健康保持増進に向けた保健事業（データヘルス計画）を策定し、平成27年度からその実施が始まっている。

また、同年7月10日には、経済界（日本経済団体連合会、日本商工会議所等）・医療関係団体（日本医師会、日本歯科医師会等）・自治体（全国知事会、全国市長会等）のリーダーが手を携え、健康寿命の延伸とともに医療費の適正化を図ることを目的として、自治体や企業、保険者における先進的な予防・健康づくりの取組を全国に広げるため、民間主導の活動体である「日本健康会議」が発足し、自治体や企業・保険者における先進的な取組を横展開するため、平成32年（2020年）までの数値目標(KPI)を入れた「健康なまち・職場づくり宣言2020」を採択した。

そこで、日本医師会は、被用者保険の保険者による健康情報の活用による健康経営の取組みや国民の生涯を通じた保健事業の推進のため、契約健診実施機関のすべての健診データを健診標準フォーマットに変換し保険者に提供することで、保険者が、より先進的な予防・健康づくりのための健診データベースを構築できるよう、協力して取組む。

（2）事業の対象

- ①全国規模の総合健保組合
- ②全国規模の単一健保組合

（3）取組みの状況

製造業系の総合健保組合と交渉中。平成29年度中に契約健診実施機関（約900健診機関）のうち、30健診機関程度の健診データを健診標準フォーマットに変換し、収集する予定。

先進的な予防・健康づくりのための健診データベース構築事業（イメージ）

